

平成27年度 第1回 千葉市稲毛区公民館運営審議会会議録

1 日 時 平成27年6月30日（火）午後2時～3時10分

2 場 所 小中台公民館（講堂）

3 出席者 （委員14人）

飛鳥井 航一委員長 青柳 典子副委員長

野與 昭委員 周東 ひさ子委員

藤川 勇委員 森脇 清委員

前島 正明委員 土屋 敏夫委員

城 久委員 種池 賀子委員

溜 昭代委員 菊池 まり委員

中嶋 のり子委員 桐原 公夫委員

（事務局11人）

金谷館長、菊地副館長（小中台） 小口館長（黒砂）

倉原館長（轟） 末永館長（稲毛） 鈴木館長（千草台）

小川館長（草野） 山下館長（山王） 山本館長（都賀）

石橋館長（緑が丘） 佐野副主査（稲毛）

4 会議次第

（1）開会

（2）委員長あいさつ

（3）小中台公民館長あいさつ

（4）委員紹介

（5）職員紹介

（6）議題

① 平成26年度公民館利用状況について

② 平成27年度公民館事業について

③ その他

（7）閉会

5 議事の概要

（1）平成26年度公民館利用状況について

事務局より、平成26年度の稲毛区公民館の利用状況を報告し、承認された。

（2）平成27年度公民館事業について

事務局より、平成27年度の稲毛区公民館の事業計画を説明し、承認された。

（3）その他

特になし

6 議事経過

菊地副館長 それでは、これより平成 27 年度第 1 回千葉市稲毛区公民館運営審議会を開会させていただきます。本審議会は、千葉市情報公開条例第 25 条に基づき会議を公開し、傍聴を認めております。また議事につきましては公開することとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

初めに委員長よりごあいさつをいただきたいと存じます。飛鳥井委員長よろしくお願いいたします。

飛鳥井委員長 (あいさつ)

菊地副館長 ありがとうございます。続きまして小中台公民館館長の金谷よりごあいさつ申し上げます。

金谷館長 (あいさつ)

菊地副館長 ここで、新たに委員となられた方をご紹介します。

まず、小中台小学校校長の中嶋のり子様でございます。自己紹介をよろしくお願いいたします。

中嶋委員 (あいさつ)

菊地副館長 ありがとうございます。続きまして黒砂公民館から野與昭様でございます。自己紹介よろしくお願いいたします。

野與委員 (あいさつ)

菊地副館長 ありがとうございます。続きまして事務局職員の紹介をさせていただきます。

金谷館長 それでは私の方から、本年 4 月 1 日付で公民館に来られました職員を紹介させていただきます。(黒砂、稲毛、山王の館長紹介)

菊地副館長 それでは、この後の議事について、飛鳥井委員長よろしくお願いいたします。

飛鳥井委員長 本日 14 人の委員さんのうち、14 人全員のご出席がありますので、規定により会議は成立しております。

次に議事録署名人の選出ですけれども、私から指名してよろしいですか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。それでは、菊池委員さん、溜委員さんのお二人にお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、「議題 1 平成 26 年度公民館利用状況について」事務局より説明をお願いいたします。

金谷館長 (「議題 1 平成 26 年度公民館利用状況について」説明)

(公民館の開館日数、利用人数、利用時間別人数及び内訳等)

公民館図書室の蔵書冊数、登録者数、貸出冊数、リクエスト件数等)

飛鳥井委員長 ありがとうございます。今、具体的な数字をあげてのご説明がありました。公民館利用状況及び公民館に併設されている図書室の利用状況、年間の利用者の数字

がそこに出ておりますけども、これらを見て、ご質問等ありましたらお願いいたします。

それでは、今、館長さんのご説明では貸出数、図書室の方ですけれども、4,010冊減という千単位の貸出数の減というのがありましたが、これについて何か理由があればご説明していただきたいと思います。

金谷館長　ご説明申し上げます。実は図書室併設の公民館におきましては、昨年、貸出しの登録をしているのですが、過去5年間貸出しの無い方について、登録の抹消をさせていただきます。それが多少、影響しているのかと存じます。

貸出数が減っておりますので、今後、公民館だけでなく中央図書館あるいは地元の稲毛図書館、そういうところと連携しながら貸出数も増やしていければと考えております。

飛鳥井委員長　ありがとうございます。どうぞお願いします。

藤川委員　公民館の利用状況。その利用時間帯の1日を通しての人数が稲毛の公民館がずば抜けて多いのですが、1日を通して4,343名がいることになるのですが、これはどういう方が利用されているのでしょうか。

金谷館長　1日を通して4,343人。かなり多いと思うのですが、1つは文化祭、並びに文化祭準備ですね。あとは夜灯し。稲毛の街の行事です。夜灯しあるいは浅間神社のお祭りの際に地域の皆さんや、あと警察の方が警備の拠点として稲毛公民館使っておりますのでその数が入っています。

飛鳥井委員長　それではよろしいですか。ありがとうございます。

その他ありますでしょうか。お願いいたします。

野與委員　千草台公民館さんの主催事業、2,715人といいますと、これはどういう事業をされたのでしょうか。

飛鳥井委員長　それでは千草台公民館長さん。よろしく申し上げます。

鈴木館長　2,700ということで、他のところと比べると1,000以上多いのですが、これは文化祭です。うちの地区、自治会と一緒に含めたもので、3日間やっています。その人数を入れてあるということです。2日間、公民館で展示をやって、3日目に中学校の体育館で文化祭の演技の方をやる。それが1,000人くらいいらっしゃいますので、その分が入っている関係です。

野與委員　ようするに地域一体になってやっていると。

鈴木館長　そうですね。その人数を含めたということです。

飛鳥井委員長　それでは野與委員さんよろしいですね。ありがとうございます。

他にありますか。それでは次に進めさせていただきます。

「議題2 平成27年度公民館事業計画について」事務局より説明をお願いします。

館長、副館長　（「議題2 平成27年度公民館事業について説明」

（各公民館の新規、特徴的な事業の説明）

飛鳥井委員長 ありがとうございます。今回の公民館事業計画につきまして、備考のところを前回お願いして、できるだけ「どこの団体のどういう方がこの事業にご支援して、あるいは実施してくれるのか」を書いてくださいということで、ほとんどの公民館、全部書ける範囲の中で書いていただきました。前回の時とそっくり同じじゃないんですね。よく見てみると、多少新しいものが加わったりしているんですね。そんなことも含めて各館長さんから今、新規のもの、あるいは変えたもの、特徴のあるものについてのご説明をいただきました。それでは、皆さんのご意見等をいただければと思います。

種池委員 黒砂公民館の館長さんにお聞きしたいと思います。

2 ページの 2 番の黒砂地域防災会議というのがあります。これは各地域の防火をしたりとか、対策ごとや、地域自治会、小・中学校、役所と一緒に考えて、対策を講じる。これ具体的にどのようなことを講じてやっていらっしゃるのか。それと避難場所との関連とか運営委員会と各学校、避難場所には運営委員会がごさいますよね。その他にこの場所の防災会の 1 本化、学校と役所、あるいは地域自治会と防災会を 1 本化するという意味でどんな目的としてこれをやっていらっしゃるのか。ちょっと詳しくお聞かせください。

小口館長 黒砂公民館でございます。先ほどもちょっと説明したのですが、黒砂地区で自主的にですね。特徴的に住民主体ということで、黒砂地区防災会議というものを設けまして、中身としましては、当然、自治会、育成委員会、あと中学校、小学校、校長先生等も入りまして会議を行っております。救援活動、避難所の開設、運営というのも対象にして自主的に、公民館を中心としてですけども、実際に災害が起きたときに、どういった形で対応するかということをシミュレートいたしまして、例えば避難所に訪ねて来た人がどういう状況かっていうのをいろんな形でシミュレートして、そのような場合にはどういう対応をしたらいいかを含めて行っております。具体的には、駐車場、車で来たんだけど、どこか止められないかとか、最近の事例では、遺体がもし運ばれてきたらそれをどういうふうに我々が対応したらいいかと。そういうことまで含めまして考えているということでございます。

種池委員 そうすると公民館が司令塔になるということですね。各避難場所、黒砂公民館地区のいくつかの町内会ございますね。その町内会が、各いくつかの運営委員会をもっていますよね。各避難場所も。それをそこから、公民館から司令をして、行政から公民館を司令室にして、そこから今度は発信をするとそういうことなのですか。

小口館長 そうではないです。あくまでも自主的な住民の防災の避難場所になりますので、当然、緊急に、例えば東北の震災のときもそうでしたけども、まずその場にいる住民たちの力でそういった避難場所を設置しまして、当然、公民館もお手伝いしますが、もしかしたら公民館の我々職員でも自宅の方にいなければならない場合があります。組織を作るにあたって、その場にいる人間がやっぱりそれなりの役割を

担わないといけないと。そういうことも含めまして誰が何をやるかっていうのも決めないで、そういうこともやっていこうといった試みでございます。

種池委員 非常にいいことですよね。私もその方向を狙っているんですけども、そういうことができたらいいなと、変な流言飛語が飛ばないような形でね。不安を煽ることがないように、各運営委員の方たちがスムーズに、公民館に行けばすべて正しい判定、把握をされて、そこでそこに来て皆さんが情報交換をしてどういうことをしたら良いのかということが、そこで皆さんが集まって会ができれば良いことです。特に学校と一体になるということはとてもいいことだと思います。1番心配しているところはそこなんです。

小口館長 今年には特に文科省の方から、防災訓練をやったらどうかという話があって、その関係で、通常は公民館の方で普段やっているんですけど、そういうこともありまして、特に中学生の場合は体力もありますしね。ましてや地元にいるということで、見守りまたは検索するとかそういったことも含めてお手伝いしてもらおうというような計画も考えております。

種池委員 私たちのお手本になっていただきたい。どうもありがとうございました。

飛鳥井委員長 ありがとうございました。今、種池委員さんが具体的な黒砂地域防災会議ということについてのご質問がありました。今の件に関してですね。防災っていうのは非常に重要な、また、公民館が何らかの形で防災の主導的な役割を担わないとならないこともあると。他にどこか公民館でそういうような会を立ち上げているところがありますか。

種池委員 立ち上げていきたいと思っているんですよね。今のところは運営委員会をまずつくってありますね。どこもつくっていると思います。ただうちの場合は、県立高校が1つ入ってます。うちの地区には2つの小学校と1つの中学ですね。それから県立高校が入っています。この県立高校が県と市と違うものですから温度差がある。その気運をなんとかね。いまのところやっとなら教育委員会ほうからもお達しもございまして何とか間に合って8月30日の防災訓練にはですね。なんとか皆さん足並みを揃えて運営委員会の協議会みたいなものを公民館でできたらいいかなと。お互いに情報交換をしながら、ただ私は学校と一体になるにはどういうふうにしたらいいのかなというところがですね。それが私としては自分で研究しないといけない。このように思っています。

飛鳥井委員長 それでは今、種池委員さんの方から緑が丘です。その地区の取り組みもうとしているお話をさせていただきました。また、これらを参考にですね。各公民館でも防災に関わる、どういうふうに地域の公民館が役割を担っていくかというところあたりを研究したり、また事業の中に生かしていただくということで参考になればと思います。

それでは、この他にですね。今の件とは別にご質問ありましたら、またあるいは

ご意見がありましたらお願いします。それではお願いいたします。

前島委員

都賀公民館の事業計画のですね。4番、減塩料理教室というタイトルで「乳製品の栄養価、健康に役立つ学習をします。それから乳製品を使って減塩料理を作ってみます。」ということなんですが、先ほど千葉県産の牛乳を使うと言われましたね。そうですね。我々の生活の買い物、私、買い物するわけじゃないんだけど、例えば主婦がスーパーとかそういう手に入れやすいところに行って千葉県産のものだけを購入するというんじゃなくて、他県産とかね。そういうところもくるんですよ。それはどうなんですか。

山本館長

あの、やってくださる人が千葉県牛乳普及協会からなので。

前島委員

ということは学習する条件というか、パラメーターに千葉県産の牛乳を使ってやっていますというパラメーターがあるわけですね。

山本館長

できれば千葉県産を買ってくださいということです。

前島委員

大きいタイトルで言うと、あ、そうすると宣伝ですか。学習する目的からすると少しリンクしない感じを受けたもので。

山本館長

普通のもも良いんですけど、来てくださる方が千葉県牛乳普及協会だから、できれば牛乳を千葉県産買っていただくとありがたいですよ。ということで一生懸命探したわけです。

前島委員

千葉県産の牛乳は他の県のもの比べて、塩分が少ないとか何か違いがあるんですか。

山本館長

それはないと思います。他のものも良いんですけど、公社に顔を立てたっていうことだけなんですけども。

前島委員

はい、わかりました。黒砂さんのほうだったかな。公民館で防災組織をね。先程、公民館で防災組織の何かやりますと。学習することは、私は非常に大賛成だしそういうふうに興味を持ってそういう方法っていうのかな。いろいろ考えて図上練習みたいな机の上で皆さんノウハウをして何かあったときにこういうふうな方法でやりましょうとか、その証としてこうしましょうというのは私、大賛成なんだが、逆にさっき一部触れられたけど、行政側からイニシアチブを取ってやっている現状ですから、行政側からやったときにそういう公民館独自の学習は良いですよ。事前の学習と知識を豊富にするのは良いんですけども、それこんがらがってコンフューズするというのをちょっと懸念したんですよ。今、現状は行政がほとんどイニシアチブをとってやっているのが現状なんですね。公民館独自で避難所を立ち上げるのは。そういうのはわかります。そうじゃなくて全般のことを学習するなら良いんだけど組織を考えるっていうんですかね。つくるっていうんですかね。ちょっと踏み過ぎ、よほど慎重にそれをリンクさせないとかえってコンフューズしてしまう。実質、現状に活かせないという懸念を持っているんです。私は。

小口館長

ちょっと私の説明がきちっとしてなかったのかなと思うのですが、この事業自体

がですね。公民館で主体となって全部やるというものではなくて、自主防災会議というのが黒砂地区にありましてですね。先程も言いましたように、自治会さんですとか、学校の先生ですとか、地区の子ども会等々と非常に大きな組織になっています。それで公民館も含めて、当然、公民館が中心にありますので使っていて、一緒に先程も言いましたように市の方が自主的に動くまでの間ですね。黒砂地区のなかで助け合おうというような形でございます。

前島委員　　そういうイベントを計画してやってみたことで、皆さんレベルアップ、少しはありますよ。いろいろな応用が利きますよ。という程度に認識すれば良いんですか。

小口館長　　もちろん、生死の問題等も含めましてそれほど軽いものではないと思いますけど。

前島委員　　そういう考えでいるなら大賛成です。ありがとうございます。

飛鳥井委員長　　ありがとうございました。それでは今、前島委員さんから行政との関わりだとか、実際の防災組織としてどうでしょうか、あるいは勉強会のようになるのか、いろんな心配事の方を含めてお話がありましたけど、そこで学習した方たちは実際の組織が動くときに大きな役割を担っていくということは間違いがないと思うんですね。良い形で災害の時に動ければと思います。

今の件でもよろしいですし、その他の件でもご質問ありましたらよろしく願いいたします。

溜委員　　都賀公民館の千葉県産の牛乳を探すのが大変だったということですが、私の知識、古いかどうか知りませんが、北海道の次に千葉県は牛乳の生産高が多いように思っていたんです。千葉県産の牛乳はそんなにないのでしょうか。学校時代、古谷牛乳なんか、みんな千葉県産だったような気がするんですけどね。

山本館長　　お店によって扱うところが違うだけだと思います。要するに館の近くのスーパーさんにとか置いてないところがあつたと。

溜委員　　千葉県は、牛乳生産高が多いはずですよ。それが無いっていうのが不思議だなと思ったものですからお伺いしました。直接、公民館の事業にどうこうって言うのはないんで。でも減塩料理っていうものに目を付けたっていうのは素晴らしいことだと思います。今、減塩がずいぶん叫ばれてますからね。タニタなんか利用すればもっと呼べますよ。

飛鳥井委員長　　溜委員さんありがとうございました。それでは他にありますか。

はい、それではお願いします。

菊池委員　　また、都賀公民館に伺いたいんですけども、図書室の利用を充実させる、児童書を充実して子どもと親とを加入させるということですが、元々、公民館の図書室の位置付けがちょっとわからないことと、児童書の充実をどのようにされて成果が出ているのか伺いたい。それともう1つあるんですけども。これ、黒砂公民館で経済入門で公正中立の立場からの経済学習っていうのはあって良いなと思ったんですが、黒砂ということではないんですが、例えば選挙権が18歳になるという話があるとき

に、なかなか公民館では難しい政治の学習とかそういうのにこれから取り組んでいくことになるかと思うので、そういった面で黒砂の経済での学習と同じように政治の学びというようなものも公民館でこれからどういうふうに扱っていくか、どういふふうに考えていらっしゃるかというのに興味があったので、どなたか答えていただけたらと思います。

山本館長 図書館に対して予算の割り当てたなかで、子どもの読みそうな本を買う量を増やすということで充実を図ります。学校の図書館もそうなんですけども、とても読まないだろうっていう古い本が結構あるんですね。それなかなか廃棄していくと冊数も減っちゃうっていうのもあるし、けっこう古いものがあるんですけど、なかなか予算の関係でやっていますので難しいっていうのも。結構地域の方がもらってくれるかっていうのもあるし使えるのもずいぶんありますし、逆にこれ絶対飾れないなって言う本も実はあるんです。お引越しのときにいっぱい出ちゃったとかあるので結構倉庫に山積みされてるところもあるんですけども、そういう痛し痒しがありますけども、そういう訳で子どものために本を増やしていこうと考えています。

飛鳥井委員長 ありがとうございます。それでは黒砂公民館さんお願いします。

小口館長 経済入門講座についてのお尋ねですけども、実際、初心者の投資入門っていう形になっています。そういう意味で公正中立というような形の事業内容としたのですが、現実にはですね、投資状況ですとか、経済状況ですとかということで言いますと、非常に、あのこんなこと言ったらあれなんですけども、騙されたりですとかね。そういったことが社会的な問題になっているということもございますので、そういう意味で株とはどういうものか、投資信託とはどういうものか、そういったことを4回に分けて、これはNPO法人で証券会社の集まりになっているんですけども、そういうところで無料で講師を派遣していただいているようなそういった組織があります。そこで証券会社のOBさんですとか、エコノミスト的な人ですとか、無料で教えていただいているということで非常にあの、もちろんこの株が良いとか悪いとかそういうことはもちろん言ったらまずいんで、どういう形で危険であるとかですね。そういうものは安全であるとかそういったもの含めまして公民館を通してですね。講座を開いてというイベントでございます。以上です。

飛鳥井委員長 いかがですか。よろしいですか。

菊池委員 さっき委員長のおっしゃっていたとおり、3月には組んでなかったものを状況に応じて組んできてますよね。だから、例えばその18歳で選挙権を持つような時代になってきて、難しい政治の問題も公民館の学びの場でどんなふうに取り上げていけるか、もう早急にやっていってもおかしくない時期だと思うんですが、あのどこか考えていたり、あるいは個人的なご意見があったら聞かせていただきたい。

飛鳥井委員長 わかりました。それでは、今の件についてすでに対応しているとか、今、考え中だとかいうところが多いと思うんですけどね。何か今の件についてご意見等あり

ますか。

金谷館長 小中台公民館ですけども失礼します。今月の17日ですか。当館の運営懇談会が開催されまして中島先生、桐原先生も参加していただきまして、その中で地域の委員さんが18歳から選挙権が今度与えられて、そういう若者に対する啓発みたいなことをですね。ぜひ公民館でやってもらえると良いよねと意見はお聞きしました。できるかどうか決めてはいないんですけども、皆さん、地域の皆さんも関心が高いっていうのは良くわかりました。いろいろと検討する価値は大いにあると思います。

飛鳥井委員長 ありがとうございます。今後の課題としてですね。そろそろ考え始めているんじゃないかと思います。私は、中学校の社会科の教師だったんですけども、基本的には公民という3年の1冊の教科書の中に日本のあるいは民主主義を教えるという、なかに選挙だとか、いろんなことが相当勉強されるはずなんです、中学生くらいから。義務教育が終了されますから、ぜひ、中学校でね。小学校もやられているかもわかりませんが、そういう教科として教えて。ただ、政治的な部分も多少ありますのでね。これはいろいろな角度から検討して、実際やる時には、公民館でやられるときには、そういうのも含めて慎重に検討しながら、ぜひ地域のニーズに合うような形で今の現代社会で新しい政治の動きのなかで検討していただければと思います。よろしいですかね。そんなところで。はい菊池委員さんありがとうございました。

それでは、他にありますでしょうか。よろしいですね。

それでは、約1時間10分近くは経ちました。もしも皆さんこれで会を閉じてよろしいということであれば、一応、会を終えさせていただこうと思っておりますけどよろしいでしょうか。

(異議なし)

飛鳥井委員長 ありがとうございます。それでは事務局さんに返しますのでよろしく願います。

ありがとうございました。

菊地副館長 委員の皆様、約1時間10分の慎重なご審議ありがとうございました。

次回の審議会は来年3月を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

以上をもちまして「平成27年度第1回千葉市稲毛区公民館運営審議会」を終了させていただきます。お疲れ様でございました。

所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課 小中台公民館

電話：251-6616